

津波から身を守るために

2011年3月11日の東日本大震災では、死者・行方不明者が約2万人となっており、その多くが津波による被害となっています。

四方を海に囲まれた沖縄では、津波による影響は避けられません。3月に入ると県内各地で海開きが始まり、海のレジャーシーズンを迎えます。ここで皆さんに改めて意識していただきたいのが「津波から身を守るために避難」です。

こんなとき、津波から避難！

- ◆強い揺れを感じた。
- ◆弱くても長い時間ゆったりした揺れを感じた。
- ◆大津波警報、津波警報、津波注意報を見聞きました。
- ◆津波フラッグを見た。



 → 海の近くでどれか1つでも当てはまつたら、
海辺から離れて、安全な場所にすぐに避難しよう！

津波からすぐに避難するためには？

□ 危険な場所を確認しよう！

海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。自宅や学校、職場の周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形・標識から確認しておきましょう。



□ 避難場所を確認しよう！

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。



□ 訓練に参加しよう！

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

[沖縄県公式ホームページより]

アニメーション教材「津波からにげる」



気象庁HP:

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html



地震に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.htm>

沖縄気象台

検索

